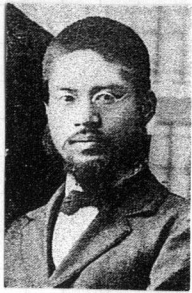


赤司繁太郎 あかし はんたろう 牧師。明治五年九月十七日福岡縣生れ。昭和四十一年一月九日没（八七二一九六五）。講義治。筆名喩花、天籟子、孤堂、愛爾子、愛爾生、愛々子、愛碧河主、挹翠樓主人、松窓隱士、檀葉、淡月、淡月居士、談天子、麗粹、麗粹子、愛碧堂主等。明治二十五年上京、東京英語學校、東京專門學校、新教神學校を轉々。二十二年受洗。翌年國木田哲夫（獨歩）、田村三治と雜誌『文壇』を創刊。二十七年エニヴァーサリスト教會宇留神教神學校卒。二十一年愛知縣と第一中學の英語教師として赴任。二十四年發刊の校内文藝誌『日の巻』の評論、譯註等々執筆。また同僚の石田春風（本名元季、國文學者）と共に、赤司喩花の名字を以て『神誌天馬』（明治二十五年四月十五日同崎屋書店）、『北歐神話選履』（明治二十五年八月十五日金港堂書籍株式會社）、『コイリアツド 榎橋の響』（明治二十七年一月十四日金港堂書籍株式會社）等々譯編出版した。二十九年エニヴァーサリスト教會中央會堂牧師、翌年成美高等英語女學校校長就任。四十一年雜誌『新天地』創刊、翌年同志と東郷坂普及福音教會を創設（のち日本自由キリスト教會と改稱）。その後、鐵道省教習所講師、陸軍省出陣、專修大學講師等々を経て、昭和十一年教會機關紙『生命の泉』主筆、二十二年日本自由宗教連盟理事となる。



著譯書、コイリアツド『コイリアツド肉字』（明治四十一年四月一日集醒社書店）、コイリアツド

年四月一日集醒

社書店）、コイリアツド

靈私語』（明治四十一年七月十日廣文堂書店）、



心と魂

赤司繁太郎著

赤司繁太郎著

『耶穌の聖訓』(明治四十二年十一月八日福音館)、『英字新聞讀破自在』(大正七年十月五日福音館・福音堂)、ニコライ・ニコライエ
 ヴイツチ・ゴローブ著『今日の大平洋問題』(譯、大正十一年七月
 二十日大日本文明協會事務所)、『純正基督教』(昭和十七年一月十
 七日實際教育會「東京版叢書」)等。赤司繁雄著『自由基督教の運動
 』赤司繁太郎の生涯とその周辺』(大正七年八月七日朝日書林)の
 る。

